美唄国設スキー場整備基本計画

令和 6 年 10 月

美唄市 Bibai-city, Hokkaido

目 次

第 1 章 基本計画の位置付け 1
1-1 基本計画の概要 1
1-2 現状の施設概要 2
1-3 営業期間・営業時間 2

第 2 章 計画地の現状分析と課題 3
2-1 スキー場の現状分析 3
2-1-1 現状の課題 3
2-1-2 利用状況 5
2-1-3 利用者へのアンケート調査結果 7

第 3 章 事業計画 12
3-1 美唄国設スキー場のあるべき姿 12
3-1-1 スキー場整備の基本理念 12
3-1-2 スキー場整備の基本方針 12
3-1-3 想定するスキー場利用者 12
3-1-4 競技スキーヤー育成に向けての取組 12
3-1-5 必要とされるリニューアルの内容 13

第 4 章 施設規模と機能 14
4-1 駐車場 14
4-1-1 駐車場 330 台の根拠 14
4-1-2 来場者数の増加についての想定 14
4-1-3 駐車場の混雑状況と来場者数の増加に伴って必要とされる駐車場の規模の想定 14
4-1-4 駐車場配置等の考え方 15
4-2 センターハウス 16
4-2-1 スキー場としてのセンターハウスに求められる機能について 16
4-2-2 センターハウスの規模設定 17
4-2-3 ユニバーサルデザイン 18
4-2-4 ゾーニングと動線計画 18
4-2-5 動線計画 19
4-2-6 センターハウスの諸室の配置とゾーンニング 21
4-3 圧雪車車庫 21
4-3-1 現状圧雪車車庫の課題 21
4-3-2 圧雪車車庫のゾーニング案 21
4-4 リフト 22
4-4-1 リフトの課題 22
4-4-2 リフトの再整備方針 22

第 5 章 市民検討委員会 25

第 6 章 全体スケジュール 27

第 7 章 概算工事費 27

第1章 基本計画の位置付け

1-1 基本計画の概要

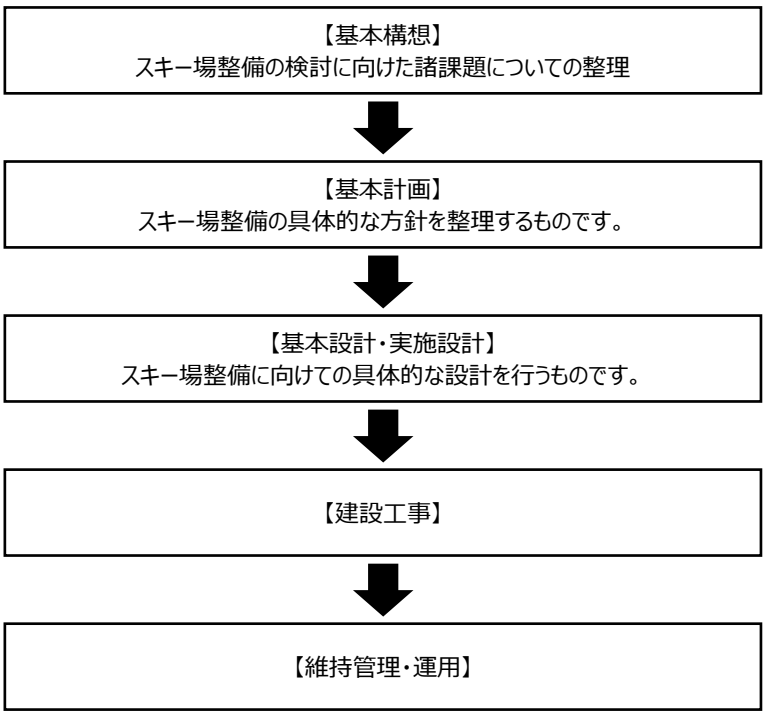
美唄国設スキー場（以下、「スキー場」という）は、冬期間、市内外から多くの人が訪れ、交流人口の増加に寄与している重要な施設です。しかし、開業から約 50 年の年数が経過し、リフトやレストハウスの老朽化、駐車場の不足等、スキー場の維持管理において様々な課題が生じています。

このことから、本市では令和 4 年度に「美唄国設スキー場リニューアルマスタープラン」、令和 6 年 5 月に「美唄国設スキー場整備基本構想」を作成し、スキー場において現状抱えている課題の確認や再編整備に向けた方向性についての整備構想を示しました。

本計画は、スキー場における設備老朽化等の課題や、今後におけるスキー場の役割について、機能構成や配置計画等、再編整備へ向けた構想に対しての具体的な基本計画の策定を目的とします。

基本計画とは、設計後の建設や竣工後の運営も含め一貫して最上位に位置づけられる価値判断基準であり、様々な検討過程における意志決定や合意形成において重要な指針となるものです。

本計画は、スキー場が抱える課題を解消するため、整備の基本理念や基本方針、運用にあたって備える機能などを具体的に示し、今後、基本設計や実施設計を行う際の基礎的な内容を示すものとして策定するものです。



1-2 現状の施設概要

○ 所在地..... 美唄市字美唄 2054 番-1（東美唄町番町）
○ 敷地面積..... 134,700 ㎡（駐車場 250 台収容可能）
○ 借地先..... 三菱マテリアル株式会社（土地賃貸借契約：17,827 ㎡）
　　指定管理者に管理運営させるため土地使用承諾書（3 年更新）
○ リフト
・ 平成 5 年 .... 新設 ペアリフト 1 基（延長 711m） 支柱 14 基 搬器 89 基
・ 平成 6 年 .... 新設 Ｊバーリフト 1 基（延長 398m）→平成 16 年 休止
・ 昭和 56 年 .. 新設 簡易リフト 1 基（延長 262m）→平成 19 年 設備撤去
○ コース..... 6 コース（標高差 185 メートル、トップ 321m/ベース 136m）

番号	コース名	距離	平均斜度	最大斜度
1	東コース（初級）	1,780m	12°	22°
2	パノラマコース（中上級）	840m	13°	23°
3	パラダイスコース（中上級）	480m	13°	24°
4	西コース（中級）	1,100m	14°	20°
5	林間コース（上級）	580m	13°	24°
6	熊の坂（上級）	-	-	-

○ 建築物..... レストハウス（昭和 51 年）、管理棟（平成 7 年建設 78 人収容）
○ ナイター照明 ... 4 系統 ①67 台 ②20 台 ③55 台 ④37 台 計 179 台、外灯 2 か所
　　支柱 57 柱

○ 略歴
・ 昭和 50 年 ..... 整備（産炭地労働施設）
・ 平成 5～平成 7 年 .... ペアリフトに建替え、Ｊバーリフト、管理棟新設
　　（防衛施設周辺民生安定施設整備事業）

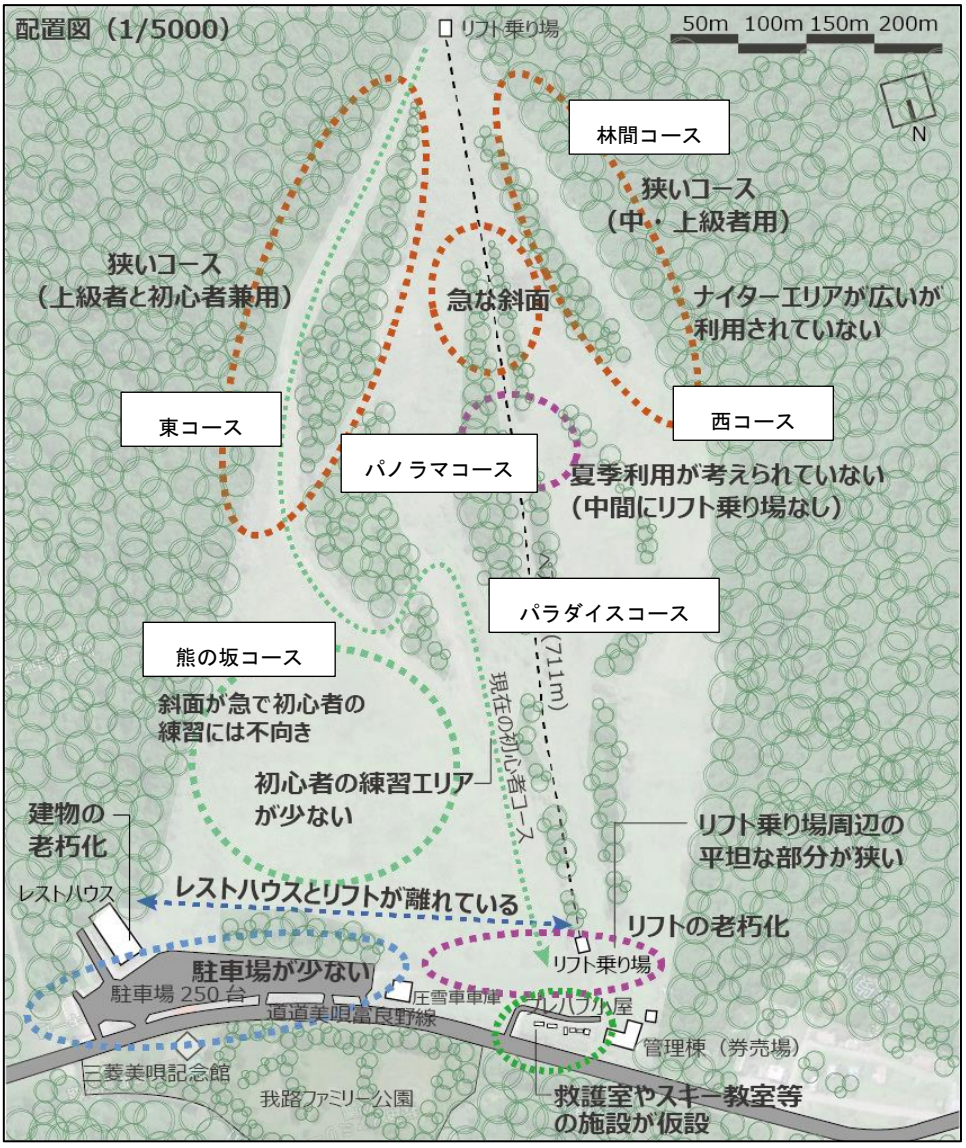
1-3 営業期間・営業時間

○ 営業期間..... 12 月（初旬）～3 月（下旬）
○ 営業時間..... 9:00～16:00
　　ナイター 毎週火・木曜日 16:00～21:00 ※季節限定（1 月以降の予定）

第2章 計画地の現状分析と課題

2-1 スキー場の現状分析

2-1-1 現状の課題



(1) 初心者の練習エリアの不足

現在初級コースとなっている東コースは前半部分を上級コースと共有しており、コース幅もあまり広くありません。また、後半部分を直進すると上級の熊の坂コースに入ってしまいます。初心者が安心して練習できるエリアの整備が必要です。

(2) 施設・設備の老朽化と輸送能力等の拡大

稼働中のペアリフトは新設から 30 年が経過し、老朽化が進行しており、更新が必要です。リフトの更新にあたっては、輸送能力を拡大するため、ゲレンデ中央から東コース途中までのペアリフトの新設や 4 人乗りリフトへの変更が必要です。

また、乗り場周辺の平坦なエリアも手狭です。リニューアルによる営業期間、利用者の拡大等を視野に入れた場合、位置の見直しや新設リフトの設置等も検討する必要があります。

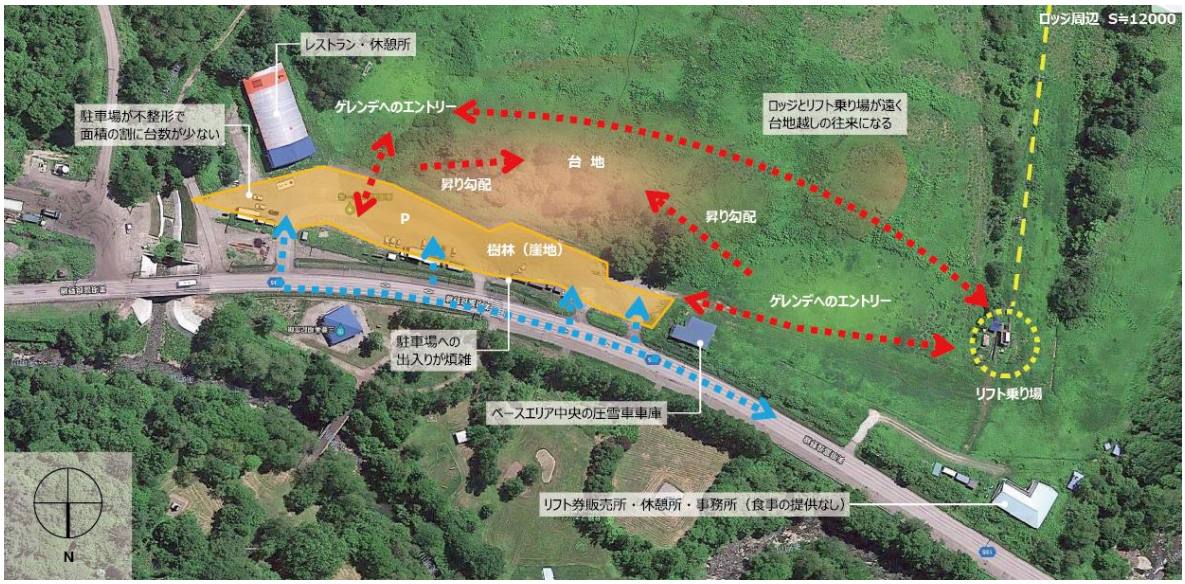
さらに、昭和 51 年建設のレストハウスは、老朽化とともに、利便性の悪さや機能不足が目につきます。リフト券販売所、リフト乗り場と離れていることによる休憩時等の使い勝手の悪さ、建物内に救護室やスキー教室関連の施設を収容できないスペース不足、温室効果ガス排出量の削減に向けた省エネルギー化等の観点からも再整備が必要です。

(3) 駐車場の不足

スキー場公式 HP においては、「250 台分完備」となっていますが、形が不規則なことと堆雪状況によってスペースが圧迫されるため、面積の割に駐車可能台数は少ない状態です。 リニューアルによる営業期間、利用者の拡大、大型バスの乗り入れ等を視野に入れた場合、駐車場についても拡大、整備が必要です。

また、現在は土を均しただけの状態により、ぬかるみなどで路面状態が悪化し、車両が立ち往生する事態が発生しているため、舗装等についても考慮する必要があります。

(4) 利用者動線の整理の必要



■ 道道美唄富良野線→駐車場

冬季、道道美唄富良野線から駐車場への入り口は東西の端に 2 か所設けられていますが、出入り口に看板やサイン等はなく、初めて訪れた利用者はどこから入っていいのかわかりづらい状態です。

■ 駐車場→ゲレンデ

駐車場からゲレンデへのエントリールートは、東西の端 2 か所に設けられています。

ただし、東（レストハウス）側からエントリーした場合、西端にあるリフト券の販売所とリフト乗り場に行くには駐車場に戻って横断することになるため、実質は駐車場西側の 1 か所になります。また、西側からエントリーしてもリフト券の販売所とリフト乗り場までは 200m～300mほどの距離があります。

■ リフト券販売所・リフト乗り場↔レストハウス

レストハウスで食事など休憩をとった後、再び滑走するには駐車場にいったん降りて、ゲレンデを端から端まで横断しなければなりません。

2-1-2 利用状況

令和 3 年度（2021-2022 シーズン）～令和 5 年度（2023-2024 シーズン）の利用状況です。

(1) 営業日数

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
オープン日	2021/12/25	2022/12/17	2023/12/23
クローズ日	2022/03/23	2023/03/21	2024/03/21
営業日数	88 日	87 日	82 日

(2) リフト総輸送人数

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	平均
総輸送人数（人）	170,170	168,104	186,562	174,945

※指定管理者利用者数調による

(3) 来場者数

来場者数のカウントはしていないため、以下の条件で算出します。

- 営業期間は 1 シーズン 12 週と想定
- 1 回券・回数券販売数＝来場者数として加算
- シーズン券購入者は週 1 回来場と想定し、シーズン券販売数×12 週の値を来場者数として、1 回券・回数券販売数と同じ比率で平日と土日に按分加算
- スキー授業は平日のみの実施として加算
- 大会は土日のみの開催として加算
- 自衛隊訓練は平日 9：土日 1 の比率で按分加算

○ 1 回券・回数券利用者

	令和 3 年度			令和 4 年度			令和 5 年度			平均		
	平日	土日	計	平日	土日	計	平日	土日	計	平日	土日	計
来場者数（人）	3,142	4,738	7,880	3,329	5,092	8,421	3,139	5,087	8,226	3,204	4,972	8,176
比率	39.9%	60.1%	-	39.5%	60.5%	-	38.2%	61.8%	-	39.2%	60.8%	-

○ シーズン券利用者

	令和 3 年度			令和 4 年度			令和 5 年度			平均		
	平日	土日	計	平日	土日	計	平日	土日	計	平日	土日	計
S 券販売数（枚）	-	-	164	-	-	175	-	-	152	-	-	164
来場者数（人）	785	1,183	1,968	830	1,270	2,100	697	1,127	1,824	771	1,193	1,964
比率	39.9%	60.1%	-	39.5%	60.5%	-	38.2%	61.8%	-	39.2%	60.8%	-

○ スキー授業（ジュニア）

	令和 3 年度			令和 4 年度			令和 5 年度			平均		
	平日	土日	計	平日	土日	計	平日	土日	計	平日	土日	計
来場者数（人）	2,689	0	2,689	2,609	0	2,609	2,452	0	2,452	2,583	0	2,583

○ 大会（競技者）

	令和 3 年度			令和 4 年度			令和 5 年度			平均		
	平日	土日	計	平日	土日	計	平日	土日	計	平日	土日	計
来場者数（人）	0	191	191	0	343	343	0	405	405	0	313	313

○ その他（自衛隊訓練 等）

	令和 3 年度			令和 4 年度			令和 5 年度			平均		
	平日	土日	計	平日	土日	計	平日	土日	計	平日	土日	計
来場者数（人）	4,701	522	5,223	4,520	502	5,022	4,750	527	5,277	4,657	517	5,174
比率	90.0%	10.0%	-	90.0%	10.0%	-	90.0%	10.0%	-	90.0%	10.0%	-

■ 想定来場者数合計

	令和 3 年度			令和 4 年度			令和 5 年度			平均		
	平日	土日	計	平日	土日	計	平日	土日	計	平日	土日	計
来場者数（人）	11,317	6,634	17,951	11,288	7,207	18,495	11,038	7,146	18,184	11,214	6,996	18,210
比率	63.0%	37.0%	-	61.0%	39.0%	-	60.7%	39.3%	-	61.6%	38.4%	-

■ 想定来場者数日平均

	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		平均	
	平日	土日	平日	土日	平日	土日	平日	土日
来場者数（人）	189	276	188	300	184	298	187	291
比率	40.6%	59.4%	38.5%	61.5%	38.2%	61.8%	39.1%	60.9%

2-1-3 利用者へのアンケート調査結果

基本方針策定にあたり、利用者の声を反映するため、以下の要項でアンケート調査を実施しました。

○ アンケート実施場所 ：美唄国設スキー場 レストハウス及び管理棟
○ アンケート実施期間 ：令和 5 年 12 月 26 日～令和 6 年 3 月 20 日
○ アンケート総回答数 ：214 件

(1) アンケート調査結果

質問	選択肢	回答数	比率
Q1. 性別	男性	139	65.0%
	女性	69	32.2%
	その他	3	1.4%
	無回答	3	1.4%
Q2. 年代	10 代	23	10.7%
	20 代	15	7.0%
	30 代	36	16.8%
	40 代	61	28.5%
	50 代	47	22.0%
	60 代	18	8.4%
	70 代以上	12	5.6%
	無回答	2	0.9%
Q3. 本日はどちらから来られましたか？	市内	59	27.6%
	市外	153	71.5%
	無回答	2	0.9%
Q4. 本スキー場には 1 シーズンに何度訪れますか？	初めて訪れた	47	22.0%
	1 回～5 回	72	33.6%
	5 回～10 回	33	15.4%
	10 回以上	60	28.0%
	無回答	2	0.9%
Q5. 今後も本スキー場を利用したいと思いますか？	強く思う	134	62.6%
	思う	69	32.2%
	よくわからない	7	3.3%
	あまり思わない	2	0.9%
	まったく思わない	1	0.5%
	無回答	1	0.5%
Q6. 本スキー場のリニューアルにあたり、あなたが求めるものは何ですか？（複数回答可）	広い駐車場の確保	132	61.7%
	管理棟とレストハウスの集約	124	57.9%
	リフトのゲートシステム導入	47	22.0%
	リフトの更新(輸送人数の増加 など)	104	48.6%
	駐車場から建物・リフトまでのアクセス短縮	109	50.9%
	オールシーズンの活用	49	22.9%
	「オールシーズンの活用」について要望するもの	別表参照	-
その他リニューアルにあたり要望するものがございましたら記入ください		別表参照	-

＜Q6.「オールシーズンの活用」について要望するもの＞（自由回答欄）

キャンプ	キャンピング
イベント	キャンピング、MTB
アウトドア施設	キャンピング
キャンプ、遊べる施設	キャンピング、MTB コース
トレイルランニング	キャンプ施設の拡充
キャンプとアクティビティ	食堂のメニューを平日も食べたい
グラススキー等	ランニングコース等ランニングができるような形を希望
夏もできるスポーツ	山菜採り、きのこ狩りにオープン
マウンテンバイクの大会	オートキャンプ場
キャンピング、BMX	トレッキング
いろいろ	ジップライン
キャンピング、トレッキング	キャンピング
トレッキング	キャンピング
リフトのフード化	スキーオフトレ
キャンピング	キャンピング
キャンピング	キャンピング
キャンピング	ピスラボ
キャンピング、BMX	夏のピスラボトレーニング
キャンピング	奥の BC エリアの入口と夏のファミリーキャンプ場
キャンピング、BMX	軽食の充実　特ににくまんあんまん等はけちらず十分に用意をしてください
キャンピング、BMX	グラススキー
キャンピング	焚き火、マウンテンバイクなど

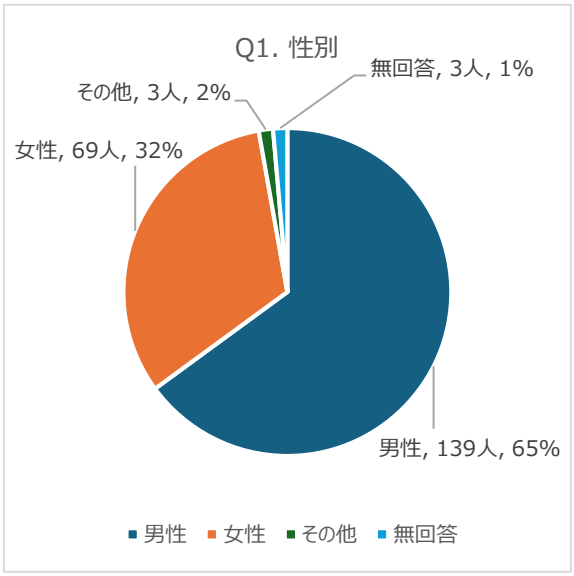
＜その他リニューアルにあたり要望するものがございましたら記入ください＞（自由回答欄・抜粋）

・リフトの待ち時間を緩和してほしい。ペアリフト一基は悲しすぎる。リフトのゲートまでは必要なさそうですが、せっかく素敵な山なのに、一基だと練習するのも待ちくたびれるので、ぜひ増やしてほしい。混雑のときは２基動かすとか。ナイターの充実もお願いいたします
・食堂、休憩所が駐車場に隣接していて綺麗で大きいといいと思う
・リフト増やして欲しい
・レストランを充実してほしい
・キッカー欲しいです。
・休憩室の拡張、荷物棚の増設をお願いします。その他は最高です!!
・券売所が狭い玄関フードのようなところにあり、混雑時に買いづらいです。また、大きなお金を一度両替をしてもらい、となりの券売機で買って、さらに並び直してリフト券に換えなければならないシステムにストレスを感じました。もっとスムーズに券を買えるようにして欲しいです。
・美唄のスキー場の存在意義はますます高くなると思います。
・駐車場の狭さと春の汚さです。
・キッカーやレール等があった方が良いと思います。
・駐車場を広くして欲しい食事の時間や種類、場所を改善して欲しい
・大便器トイレの１箇所スペースを広くとって欲しいと思います。
・レストハウスは管理棟の雰囲気が薄暗いのでもっと明るくなるともっと楽しい時間を過ごせるようになると思います。
・道内で最高の穴場スキー場だと思っています。
・レストハウス側にリフト増設して欲しい

(2) アンケート調査結果の分析

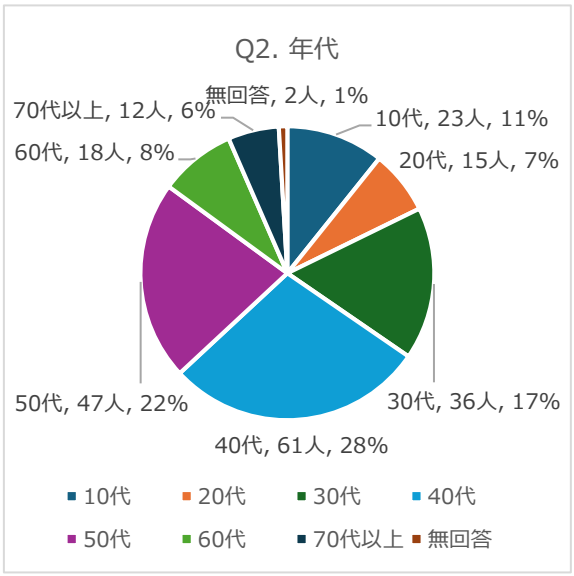
■ Q1. 性別

今回の回答者の男女比は、ほぼ 2：1 です。



■ Q2. 年代

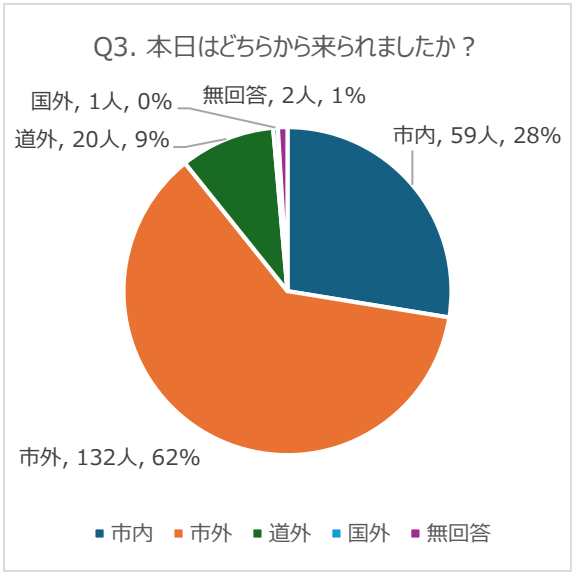
年代は「40 代」が最も多く、30 代～50 代が来場者の中心層となっているもようです。

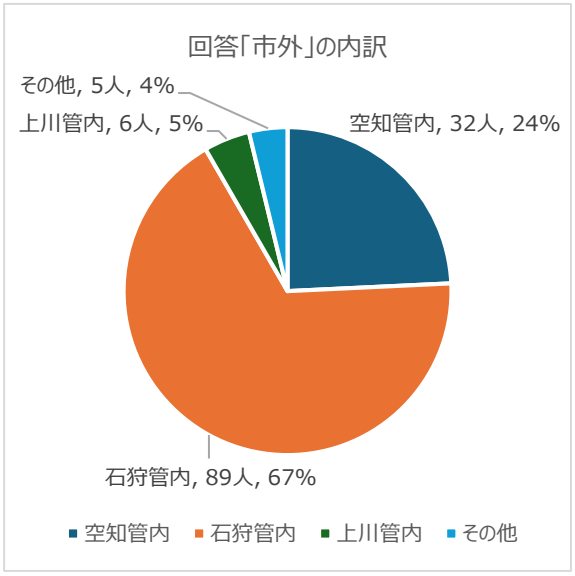


■ Q3. 本日はどちらから来られましたか？

「市外」在住者が 62%と、「市内」在住者の約 2.2 倍です。

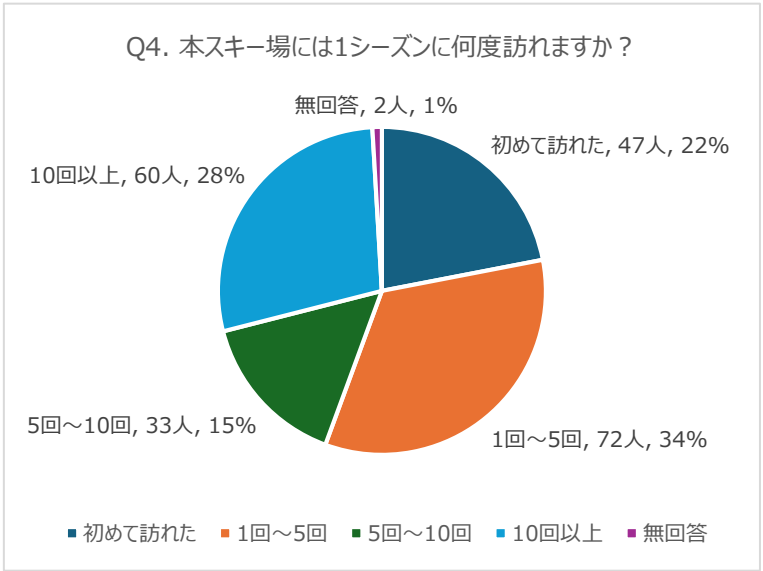
「市外」在住者は岩見沢市、滝川市等近隣市町村からいらした方が 24%で、「市内」と合わせた空知管内在住の方と、札幌市、江別市、千歳市、北広島市等石狩管内からいらした方が約半々の割合です。





■ Q4. 本スキー場には 1 シーズンに何度訪れますか？

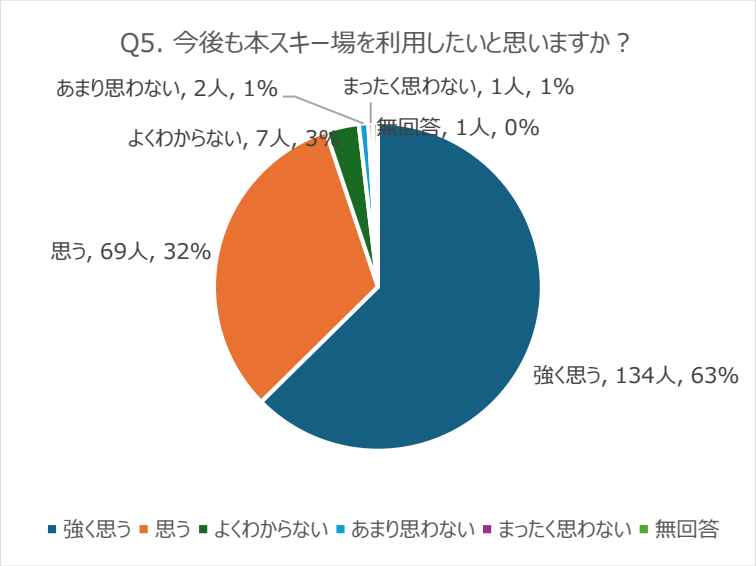
「1 回～5 回」が 34%、「5 回～10 回」が 15%、「10 回以上」が 28%と、リピーターが 8 割近くを占めています。Q3.の結果から、市外からも継続的に通ってくださっている方が多いことが分かります。



■ Q5. 今後も本スキー場を利用したいと思いますか？

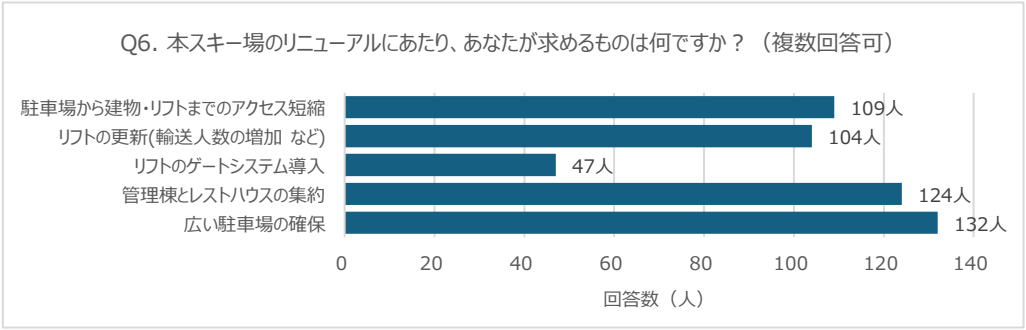
「強く思う」「思う」を合わせて 95%に達しています。

継続的に通ってくださる方に感謝するとともに、回答数から Q4.で「初めて訪れた」と答えた方の少なくとも 7 割以上が「また来たい」と思ってくださったことになり、来場者数の拡大につながる可能性があると考えられます。

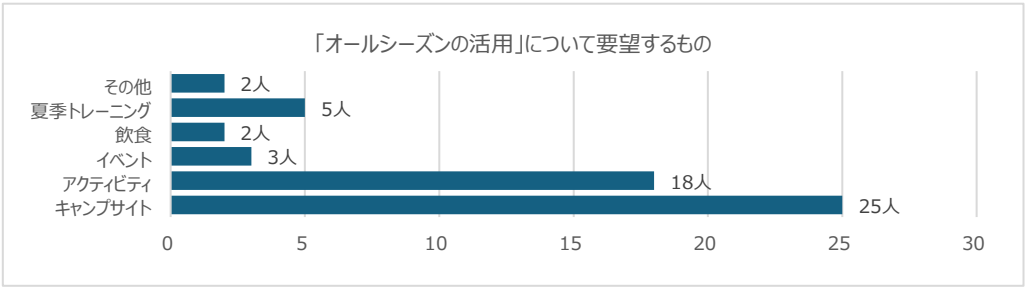


■ Q6. 本スキー場のリニューアルにあたり、あなたが求めるものは何ですか？（複数回答可）

「広い駐車場の確保」「管理棟とレストハウスの集約」「駐車場から建物・リフトまでのアクセス短縮」「リフトの更新」等、「2-1 スキー場の現状分析現状の課題」で挙げた課題点がほぼそのまま求められています。



また、「オールシーズンの活用」については、キャンプ、MTB、トレッキング等のアウトドアアクティビティの要望が多く上がっています。



第3章 事業計画

3-1 美唄国設スキー場のあるべき姿

美唄国設スキー場は、美唄市民や周辺住民にとって重要なレクリエーション施設であり、以下の条件を兼ね備えていることが望ましいと考えられます。

3-1-1 スキー場整備の基本理念

美唄国設スキー場の整備に向けた基本理念を「次世代に負担をかけることなくスノー文化と資源の継承」と設定し、以下の視点による整備を進めることとします。

1) 施設の質と安全性

・ 良質なゲレンデの維持管理、適切なリフト設備、安全対策が整っていることが必要です。また、初心者から上級者まで楽しめるコースの設計も重要です。

2) 手頃な価格

・ スキー場は、家族連れや若者など、幅広い層の市民が利用できるように、リフト券やレンタル料金が手頃な価格設定であることが重要です。

3) コミュニティの結びつき

・ スキー場は、地域社会の結びつきを強化する場としての役割も担います。地元のスキークラブや学校と連携しスキー教室やイベントを開催することで、コミュニティの活性化に貢献します。

4) 環境への配慮

・ 自然環境を尊重し、持続可能な運営を心がけることもスキー場の重要な側面です。エコフレンドリー（※1）な施設運営や、自然保護活動への参加が求められます。

※１：エコフレンドリーとは「環境に優しい」または「環境負荷が少ない」という意味です。

3-1-2 スキー場整備の基本方針

○ 子どもから大人までファミリーがそれぞれに楽しめるスキー場
○ 基礎スキーの聖地であり、世界に羽ばたく選手育成を視野に入れたスキー場

3-1-3 想定するスキー場利用者

○ ファミリー、スキー授業誘致（市内、市外、道外）
○ 基礎系、大会誘致
○ インバウンド

3-1-4 競技スキーヤー育成に向けての取組

○ 競技スキーヤー育成に向けたスキー場活用プログラムをスタート
○ スキー・スノーボード学童クラブ（市内学童向け）
○ スキー・スノーボードアカデミー
○ 大会の誘致 等

3-1-5 必要とされるリニューアルの内容

コンセプト

魅力あるスキー場再整備を図るため、
①リフト
②センターハウス
③駐車場
に関する事項を検討し、 市内外問わずファミリー層から競技者まで、
それぞれが楽しめるスキー場に発展させる。

ターゲット

ファミリー層
初心者
競技者
コア層

重点ポイント

①リフト
→輸送能力アップ（2 人乗又は 4 人乗の検討）
　初心者対応（初心者用の安全な搬送方法への配慮）
②センターハウス
→レストハウス及び管理棟の集約による利用者に配慮した場所の選定
　機能を高めた集約配置
③駐車場
→充分な駐車スペース確保
（センターハウスとの関係や、 雪の堆雪場所への配慮）

整備後の展望

・ファミリー層やスキー初心者から上級者まで、 幅広く楽しめるスキー場の環境整備
・スキー教室、 スキー大会の開催及び誘致による冬季スポーツの振興、 利用者増
・道道美唄富良野線の開通による富良野方面からの新たな観光スポット
・観光施設として、 観光入込客数の増加、 交流人口の拡大、 地域と経済の活性化等
・将来は、 通年利用で施設の管理運営を自走できる体制づくり

第4章 施設規模と機能

4-1 駐車場

4-1-1 駐車場 330 台の根拠

今回の整備計画では、現状路上駐車等を行っている方々に、敷地内に駐車していただけるような駐車場計画に合わせ、リフトの搬送能力向上による来場者数の増加に対応した駐車場整備を考えています。

土日の来場者数のピーク時には、最大で 1 日約 400 人の利用者があり、車 1 台当たり 1.5 人乗車していると想定すると、約 270 台の駐車スペースが必要となります。

また、スキー場には大会になると関係者（スキー連盟やスキーパトロール隊）の車両が約 30 台、更にはイベント開催で大型バスを含む約 30 台の駐車台数が必要となることから、330 台という駐車台数を算出しました。

4-1-2 来場者数の増加についての想定

	平日	土日
現状の来場者数日平均※（人）	187	291
来場者数日平均×1.3 倍（人）	243	379
来場者数日平均×1.6 倍（人）	299	466

※令和 3 年度（2021-2022 シーズン）～令和 5 年度（2023-2024 シーズン）の平均値
※算出方法、内訳については「2-1-2(3) 来場者数」参照

4-1-3 駐車場の混雑状況と来場者数の増加に伴って必要とされる駐車場の規模の想定

現状の駐車場規模は、スキー場公式 HP 上は「250 台分完備」となっていますが、冬季の混雑時の状況を航空写真で確認すると、実質場内駐車台数は 150 台、路上に 40 台、合計 190 台程度駐車しています。土日の平均来場者が 291 人であれば、1 台あたりの乗車人数は 1.53 人と想定できます。

1 台当たりの乗車人数を 1.5 人と想定すると、以下の規模の駐車場が必要になります。

	想定駐車台数（A÷1.5）		駐車台数 150 台との差分		駐車台数 330 台との差分	
	平日	土日	平日	土日	平日	土日
現状来場者数の必要駐車台数（台）	125	194	25	△44	205	136
来場者数×1.3 倍時の必要駐車台数（台）	162	253	△12	△103	168	77
来場者数×1.6 倍時の必要駐車台数（台）	199	311	△49	△161	131	19

現状の来場者数でもすでに、土日は駐車場が不足し、路上駐車が発生しています。

駐車場を整備し、駐車台数を 330 台まで拡大することで、年間来場者数×1.6 倍まで対応可能になると試算しています。

4-1-4 駐車場配置等の考え方

美唄国設スキー場は斜面が道道美唄富良野線の近くまで迫っていて、リフト乗り場や初心者の練習に適したなだらかなゲレンデが確保しにくい形状です。可能な限り広い駐車スペースを確保するためには、道道沿いに細長い駐車エリアを設けることで、なだらかなゲレンデエリアを確保しつつ、駐車場の拡張が可能と考えます。

- 道道美唄富良野線から駐車場への入り口は、ゲレンデの東側、ゲレンデの中央部と西側に 3 か所設置します。
- センターハウスの前には、大型バスの乗り入れが可能なロータリーを設け、団体客やスクール等の利用者の利便性に考慮します。
- 駐車場のゲレンデサイドに、東西につながる歩道を設け、可能な限り歩車を分離した安全な歩行路を確保します。
- 冬季の駐車場を除雪した雪は、道道美唄富良野線との間の緑地帯（約 6mの幅員）部分に堆雪します。
- 現状レストハウス跡地は、大型車両の駐車場としますが、バスが駐車していないときは一般客の駐車場として開放します。
- 駐車場内には、一般利用客、大型車、多目的駐車スペースへの案内を明確にするための誘導サインを設置します。

4-2 センターハウス

4-2-1 スキー場としてのセンターハウスに求められる機能について

スキー場のセンターハウスに必要な機能としては以下の機能が考えられます。

■ スキー場の利用者が快適に過ごすための機能と諸室

1) 受付・インフォメーションカウンター

・ 来場者に対する受付や発券、情報を得られるように、案内や問い合わせができるカウンターを入口から入った受付のコリドール（廊下）に面して設置します。

2) 共有スペース

・ 待ち合わせや休憩に利用できるスペースがあり、ゲレンデでの活動の合間にリラックスできる場所を提供します。

3) ロッカー等

・ 来場者が荷物を安全に預けられるような機能をロッカー室、休憩エリアに設置し、手ぶらでスキーやスノーボードを楽しむことができるよう対応します。セキュリティを確保しつつ、利便性を提供します。

4) スキー用具等貸出スペース

・ スキーやスノーボード、ウェアや関連商品の貸出しが可能なスペースを設置し、初心者や手ぶらで来場した人々にも対応します。

5) 券売機設置

・ リフト券の購入や各種チケットの取り扱いを行う窓口を受付のコリドール（廊下）に面して設置します。

6) 飲食施設

・ 利用者が快適に過ごせるよう、食事や飲み物を提供するレストラン機能を休憩コーナーに設置します。

7) 更衣室とトイレ

・ 来場者が着替えやトイレを利用できるように、清潔で快適な設備を整えます。

■ スキー場を管理するために必要な機能と諸室（センターハウス内）

1) 会議室

・ スキー場の日常運営を円滑に行うための会議室です。ここでは、スキー場の管理者やスタッフが業務の連携や打ち合わせ他、大会時の会議や来場者が使用可能な会議室として対応します。

2) パトロール詰所

・ ゲレンデの安全を監視し、事故や怪我があった際に迅速に対応するための施設です。隣接する救護室での救急処置や救助活動の拠点となります。

3) スクール受付窓口

4) 倉庫、食品保管庫（厨房用）

5) 機械室、電気室（MR）

■ スキー場を管理するために必要な機能と諸室（別建物）

1) 倉庫

・ スキー場の設備や機器の保守管理用品を保管するための部屋です。定期的な点検や修繕、環境測定などに使用する備品を保管します。

2) 圧雪車車庫等

・ ゲレンデの整備及び管理を行うために必要な圧雪車及びスノーモービルの車庫を設置します。

4-2-2 センターハウスの規模設定

現状施設の規模や将来可能な利用者増を参考に、今後、規模の検討を行います。

	レイアウト名	室名
1	休憩・セレモニー	
2	厨房	
3	スキー用品貸出ｽﾍﾟｰｽ	
4	受付（券売機設置）	
5	WC・ロッカー（一般利用客専用）	WC（男子・女子・多目的）
6		ロッカー等（男子・女子）
7	パトロール	スキーパトロール控室
8	救護	
9	会議室	
10	倉庫	
12	機械室	

4-2-3 ユニバーサルデザイン

年齢や障がいの有無、性別、国籍、言語等にかかわらず、来場者の誰もが安全で快適に利用できる施設とします。

(1) 分かかりやすい案内表示等

表示の大きさや設置場所、配色等に配慮し、英語等の外国語表記のある多言語案内表示を取り入れる等、分かりやすい案内表示を導入するほか、初めて訪れた来場者にもわかりやすい施設とします。

(2) 快適な移動空間

敷地内の通路は、複雑な移動とならないように分かりやすく連続性のある移動経路とします。出入口等の段差解消や、ゆとりのある通路幅を確保します。

(3) 多様な利用者への配慮

適切な位置に衛生的で清潔感のあるトイレを配置します。トイレには、オストメイトや多目的トイレを併設するとともに、子育て世代や高齢者等さまざまな来場者に対応するため、チャイルドシートや手すりを設置します。また、子育て世代が利用しやすいよう 、授乳室やベビーベッド、キッズスペース等の設置を検討します。

4-2-4 ゾーニングと動線計画

ゾーニングとは、機能や用途など施設計画において必要な空間をいくつかのまとまりに区分けして整理し、それらの相互の関係を考慮して適切な場所に配置することを指します。ここでは、敷地全体のゾーニングについて記載し、動線計画や諸室の配置につながる建物と駐車場及びリフトとつながるオープンスペースの位置関係を示します。

(1) センターハウスの配置

センターハウスの位置は、ゲレンデを滑り降りてきて最もアプローチしやすい、駐車場に隣接した西側に設けます。できるだけ平坦なゲレンデを残すように、南北方向の寸法を小さくし、東西に長い建物形状とします。

建物には利用者の利便性に配慮し、直接ゲレンデから建物に出入りできる入口を各所に設けます。

休憩エリアは、ゲレンデが見渡せる建物中央部に配置します。

(2) 駐車スペースの配置

道道側のゲレンデ中央部から東側エリアにかけて駐車スペースとします。センターハウスに面した東側部分に車寄せを設け、荷物等をセンターハウス前で降ろして、駐車スペースに移動できるようにします。

駐車場エリアの東端は、大型バス等の駐車も可能な、広い駐車スペースを確保します。

センターハウス入口近辺には、「多目的駐車スペース」を設置します。

冬季の除雪については、まず駐車スペース外に排雪を行い、積雪が多くなってきた際には、東側駐車エリアの一部を排雪スペースとします。

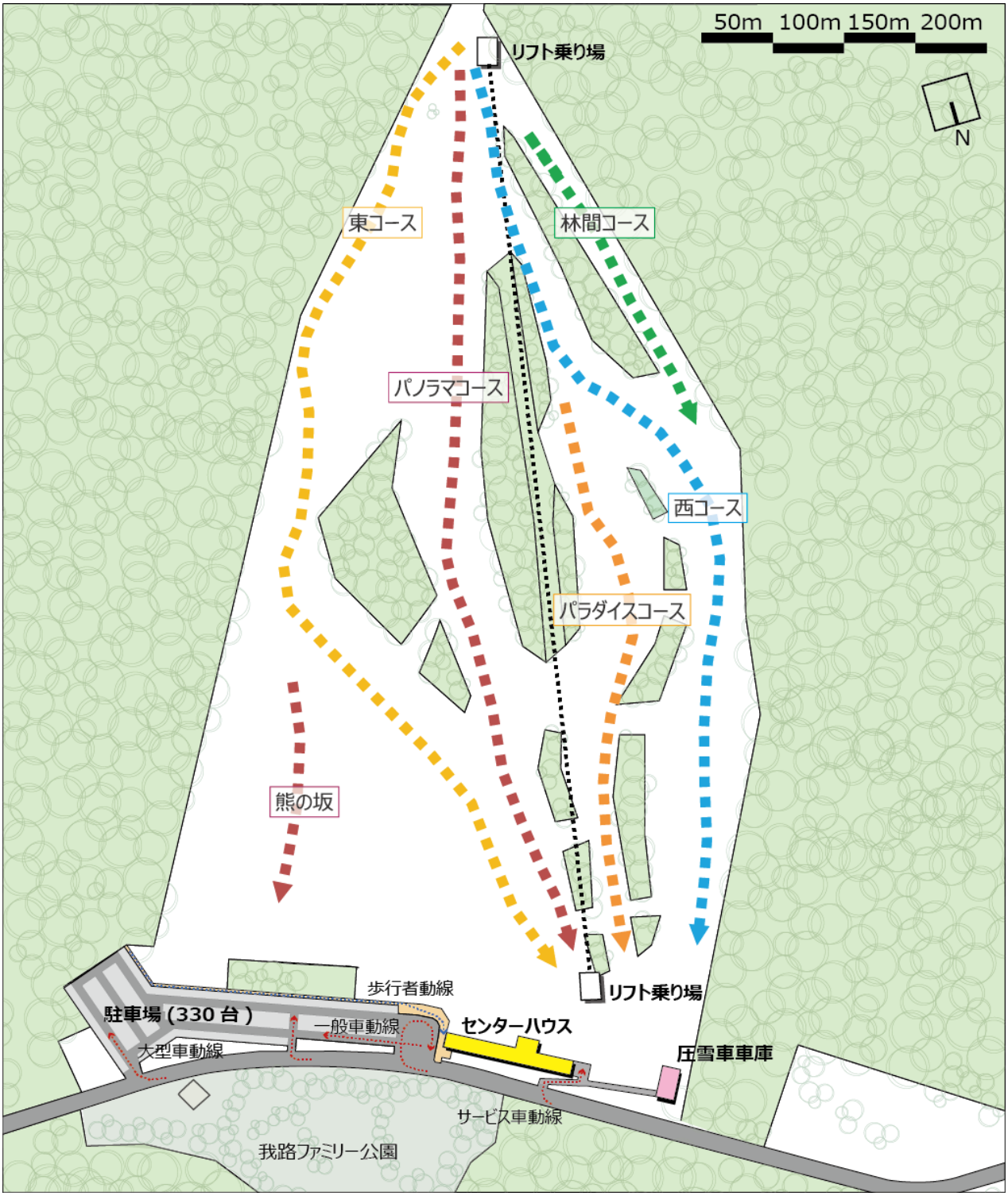
来場者駐車スペース以外に、サービス用や従業員用の駐車エリアを設けます。

4-2-5 動線計画

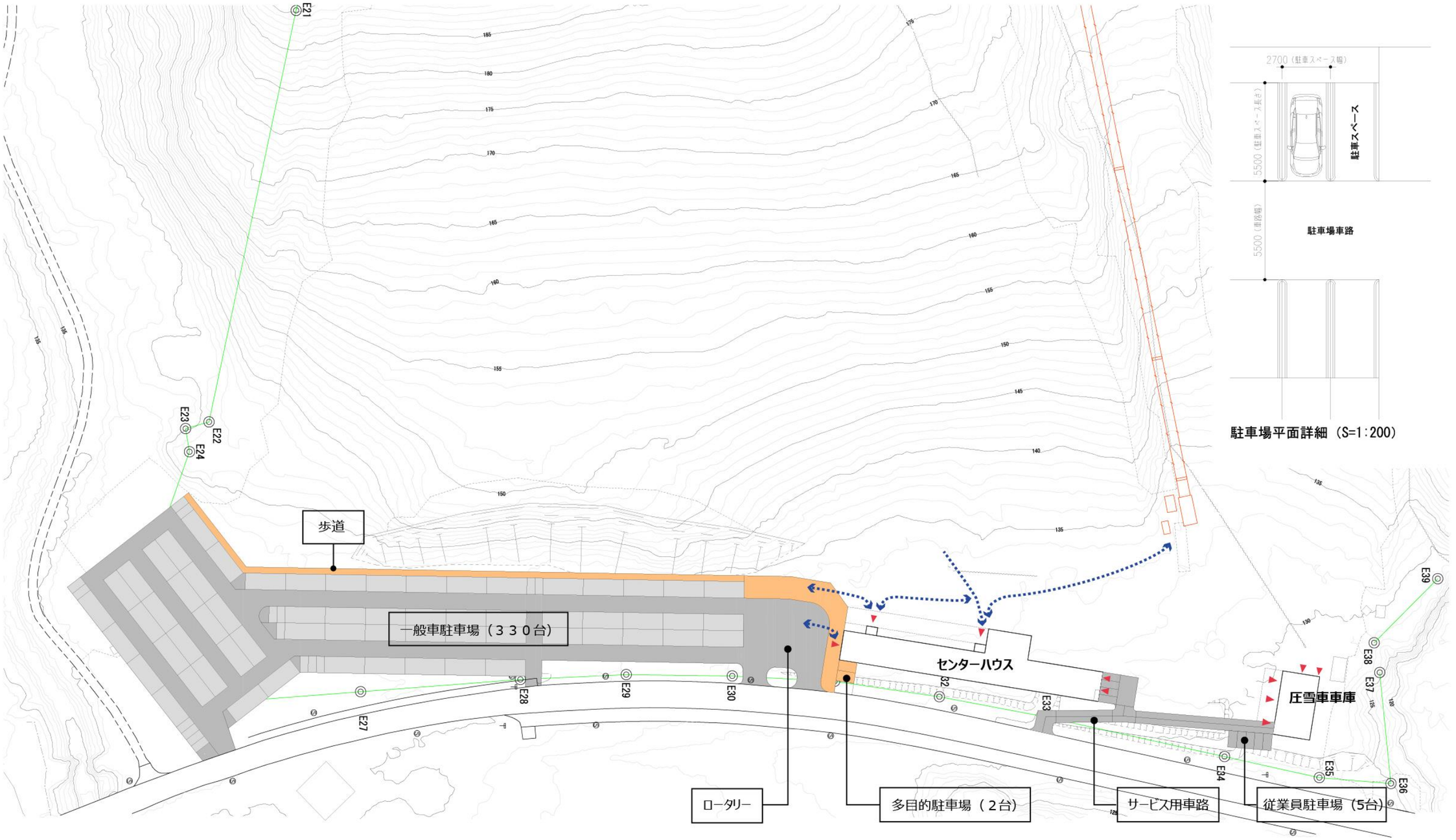
駐車場の南側に歩道を設け、駐車スペースから車路を歩行せず安全にセンターハウスにアプローチできる歩行路を設けます。

センターハウスの両側から車でアプローチ可能にすることで、正面からは車でアプローチする必要がなくなることで、歩車分離の動線計画とします。

スキー終了時には、東側駐車エリアにゲレンデから直接アプローチすることも可能です。



配置検討案


歩道
一般車駐車場（３３０台）
センターハウス
圧雪車車庫
ロータリー
多目的駐車場（２台）
サービス用車路
従業員駐車場（5台）
駐車場車路
駐車スペース
2700（駐車スペース幅）
5500（駐車スペース長さ）
5500（車路幅）
駐車場平面詳細（S=1:200）

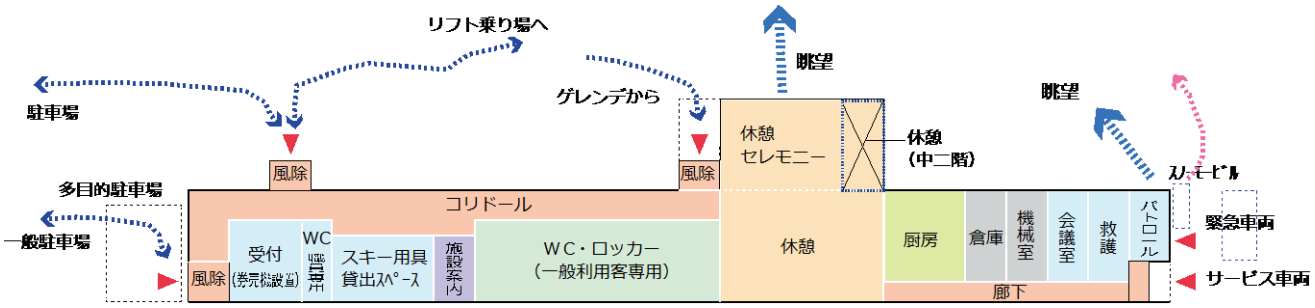
4-2-6 センターハウスの諸室の配置とゾーンニング

(1) 階構成

センターハウスは、利用者のアプローチのしやすさやサービスの利便性、階段等が不要になることでの床面積の効率化に配慮し、木造平屋建てとします。

(2) センターハウスのゾーニング案

東西に細長い形状の建物になることから、東側の車寄せに近いエリアを、エントランス・受付エリアとし、スキー用具貸し出しスペース、施設案内、トイレなどを配置します。建物の中央部は休憩エリアとし、直接ゲレンデからは入れる入口を設けます。西側エリアはスタッフエリアとし、厨房、パトロール詰所、救護室、会議室、倉庫、機械室を配置し、管理用駐車スペースからアプローチできるようにします。



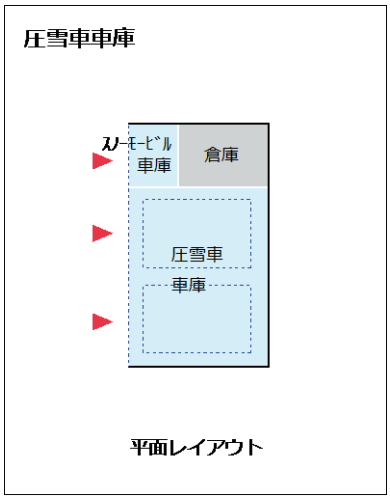
4-3 圧雪車車庫

4-3-1 現状圧雪車車庫の課題

現在ゲレンデのほぼ中央の道道美唄富良野線に近い位置に圧雪車用の車庫が建設されています。現状の圧雪車車庫は、以前の圧雪車に合わせた大きさのため、大型の圧雪車が入庫できない状態です。

4-3-2 圧雪車車庫のゾーニング案

圧雪車が 2 台入庫可能な大きさとします。また、ゲレンデ整備に使用するスノーモービル車の入庫も可能な大きさとします。



4-4 リフト

4-4-1 リフトの課題

(1) 搬送機器の課題

現在のペアリフトは平成 5 年に設置されたもので、老朽化が進んでいます。毎年整備は行っていますが、リフト駆動部の電子制御を行うサイリスタ装置の耐用年数は 10 年であり、今後サイリスタ装置の不具合発生が予想されます。

サイリスタ（※3）に不具合が発生した場合は、世界的な電機部品の不足からサイリスタ装置の納期が 18 か月と長期に渡る状況です。不具合が発生時に必要部品の入手が出来ない場合は、修理対応が出来ませんので緊急を要する状況です。

早期のサイリスタ装置の更新もしくは、一般的な駆動システムであるインバーターを使う最新システムに更新することで、想定外の不具合発生リスクを抑え、スキーリフトの継続的な運用が可能です。

※3 サイリスタ（Thyristor）とは、電流を制御するための半導体素子です。主に直流（DC）や交流（AC）の電気機器のスイッチングに使用されます。

(2) 搬送能力の課題

美唄国設スキー場は、土日の利用者が多く、一日平均約 291 名の方が利用され、大会になると 100 人増え、最大で 1 日約 400 人の利用者があります。現在でも利用者アンケートの結果から、リフトの待ち時間が長いことへの不満が出ていますが、今後整備が進み利用者が増加した場合には、さらに待ち時間が長くなると予想できます。

(3) リフト乗り場位置の課題

現状のリフト乗り場位置は、ゲレンデの西側に配置されており、レストハウス利用客や、駐車場利用者は長い距離を歩行しなくてはならず、不便な配置となっています。

4-4-2 リフトの再整備方針

上記の課題を解決するために、基本構想では既存リフトの更新、新規リフトの設置等、複数の整備案を作成し、搬送能力の向上、利用者の利便性向上、建設・運用コストの削減等、複数の観点から比較検討を行った結果、搬送能力の課題を解決するためには、4 人乗りリフトを導入することが最適であると判断しました。

※将来における 1 日あたりのピーク時（午前 9 時から午前 11 まで・午後 1 時から午後 3 時まで）のリフト利用者数の予測について
土日の利用者予想人数を最大で 465 人と想定
そのおよそ 9 割がピーク時に集中し、1 時間に 5 回リフトに乗ると想定する。
465 人×0.9=418 人
418 人×5 回=2,090 人/時（リフトの搬送能力）

■ 整備条件

1) 搬送能力の向上

・ 今後の混雑解消に向けて、新設リフトの 1 時間あたりの搬送人数を 2,057 人/h を有するものとします。

2) 利便性の向上

・ 先述した駐車場の拡張、センターハウスの建設等のベースエリアの整備を前提に、利用者動線を考慮してゲレンデ付近にリフト乗り場を設置します。

・ パラダイスコースの西側にムービングベルトを設置するなど、初心者が安全に利用できる搬送方法を検討します。

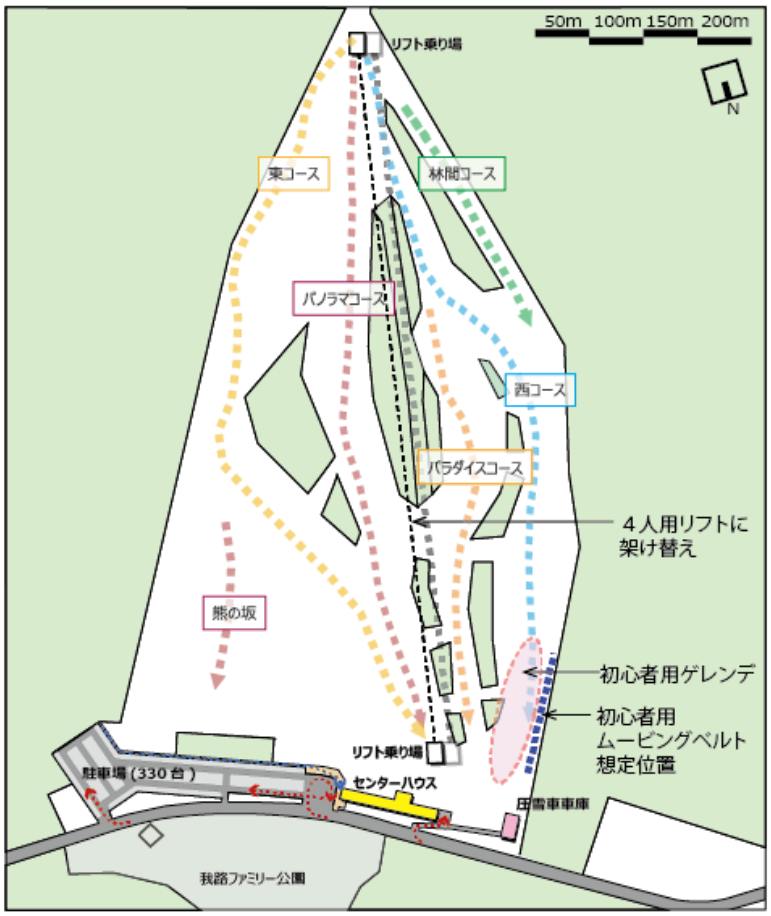
・ 自動改札機の設置を検討します。

3) 建設・運用コストの抑制

・ 建設費、維持管理費、スタッフの配置等について、負担が少ない案を検討します。

初心者搬送システムの例（ムービングベルト）
自由に昇降可能

リフト更新案

	4人乗りリフト案
配置図	
条件	・支柱を含めてリフト全体を新設する（固定式4人乗り）
搬送人数	・現状の搬送人数の約2倍となる （リフト速度2.0m/秒、発車間隔7.0秒/台104台、2,057人/時）
中級者・上級者への対応	・搬送能力がアップするため、十分な本数を滑ることができる
リフトの整備コスト （イニシャル、税別）	・¥850,000,000
参考：自動改札機 （アクセスコントロールシステム）	・¥32,700,000　・回数券購入等の時間短縮による利用者の利便性向上及び乗り場受付管理者の配置が改善される
参考：ムービングベルト設置の場合のコスト（税別）	・¥79,000,000（透明な屋根付き） （本体¥35,000,000、設置¥6,000,000、ギャラリー屋根¥38,000,000）

第5章 市民検討委員会

美唄国設スキー場の再編整備に関する基本設計等を作成するに当たり、市民参加による魅力あるスキー場の再整備を図るため、美唄国設スキー場の再編整備に関する市民検討委員会（以下「委員会」という。）を設置し、リフトやレストハウスの老朽化、駐車場不足の課題を重点に議論を行いました。

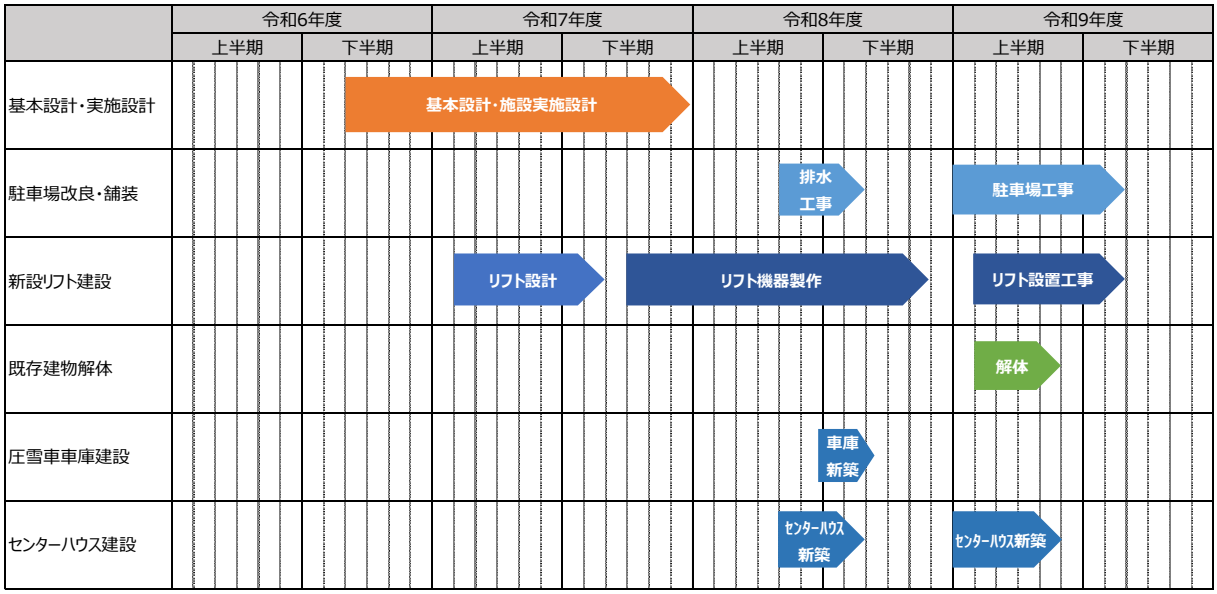
・ 市民検討委員会の開催状況及び内容

回	開催日・開催場所	参加者	内容
第１回	令和６年７月 22 日（月） 美唄市役所市長会議室	・委員７名 ・オブザーバー3 名 ・市職員５名	・委嘱状交付 ・市民検討委員会の趣旨目的 ・市民検討委員会の公開について ・市民検討委員会傍聴要領（案） ・基本構想の概要 ・基本計画等の策定について ・その他 ・意見交換
第２回	令和６年８月７日（水） 美唄市役所市長会議室	・委員７名 ・オブザーバー7 名 ・市職員４名	・第１回市民検討委員会の概要について ・スキー場リニューアルについて ・リフト案の比較について ・駐車場の規模・配置について ・センターハウスゾーニング案について ・リフト案に対するランニングコスト ・その他 ・意見交換
第３回	令和６年８月 28 日（水） 美唄市役所大会議室	・委員７名 ・オブザーバー8 名 ・市職員４名	・第２回市民検討委員会の概要について ・基本計画案について ・その他 ・意見交換
第４回	令和６年９月３日（火） 美唄市役所大会議室	・委員７名 ・オブザーバー７名 ・市職員５名	・第３回市民検討委員会の概要について ・提言書（案）について ・その他 ・意見交換

・ 市民検討委員会での重点項目等意見のまとめ

リフトについての意見
リフトの更新にあたり、輸送能力を向上させるため現在の２人乗りから４人乗りに拡大し、待ち時間を改善することでスキー場利用者に対し、ストレス解消の重要性と費用負担増額等の議論、施設再編後に利用者が増加する可能性や目的とその効果、リスク等の検討を重ねた結果、本委員会おいて、２人乗りリフトか４人乗りリフトかの結論を出さず、今後においては、本委員会の意見をもとに市及び市議会の慎重な検討を重ねていただきたい。
センターハウスについての意見
美唄国設スキー場整備基本構想をもとに、初期の案から現在まで設置場所や規模、機能等、多数の意見と協議を重ねた結果、利用者の利便性を考慮するとともにスキーパトロール室や食事・休憩スペースの拡張に配慮が必要であること、また、初級者向けの平場確保やコースに支障がない場所に配置する必要があるとの意見から、駐車場やリフトに近い場所に配置し、木造平屋建てが望ましいとまとまったため、今後は本委員会の意見を反映させ、具体的な整備・配置等に進んでいただきたい。
駐車場についての意見
駐車場は、スペース不足により路上駐車等が重要な課題であり、施設の再編後は除雪の堆積場所確保や駐車スペース幅の検討、大型車両への配慮のほか、センターハウスへの導線等も同時に検討したうえで、駐車台数を最大 330 台が可能な配置案でまとまったため、今後は本委員会の意見を反映させ、具体的な整備に進んでいただきたい。
その他についての意見
施設の再編にあたり新たな整備案として、初心者に目を向けベルトコンベア型装置の配置や自動改札機の導入により利用者の利便性を図るとともに、人件費改善に努める等の意見が出ているため、今後の施設再編に期待したい。また、レストハウスの解体にあたり歴史的建物として記憶に残すような対応をしていただきたい。 さらに、将来的には、周辺施設とともに夏利用の整備にも期待したい。

第6章 全体スケジュール



第7章 概算工事費

〈事業費の試算〉　　単位：百万円

		概算見積（４人リフトの場合）
実施設計費		66
工事費	センターハウス	877
	圧雪車建設	120
	既存解体撤去	52
	駐車場	276
	リフト	1,038
	計	2,363
	消費税	237
	合計	2,600
総事業費		2,666

〈財源内訳〉　　単位：百万円

			概算見積（４人リフトの場合）
実施設計	実施設計		66
	工事費		2,600
国庫補助額（2/3）	実施設計		44
	工事費		1,733
過疎債償還額（100%）	実施設計		22
	工事費		867
元利償還金	実施設計	地方交付税算入額（70%）	15
		市負担額（30%）	**7**
	工事費	地方交付税算入額（70%）	607
		市負担額（30%）	**260**
市負担額（見込み）			**267**

※市が償還する金額を15年と想定した場合　１年間の負担は約１千780万円

美唄国設スキー場整備基本計画

令和 6 年 10 月

発行：美唄市
住所：〒072-8660 北海道美唄市西 3 条南 1 丁目 1 番 1 号
TEL：0126-62-3131
FAX：0126-62-1088